

文協通信

第70号

2021・1・1

(発行)高野 宗佳

(一社)町田市文化協会

(編集)倉橋 幸二

題字・平野南秋

「新年によせて」

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳

明けましておめでとうございます。

皆様には令和辛丑の新年を恙なくお迎えの事とお喜び申し上げます。



「安閑無事」
建仁寺館長
小堀泰巖大師筆

昨年はコロナウイルス感染症が世界中を席巻し、不測の事態にあらゆる方々が影響を受けました。今まで当たり前と思っていた日常がどれほど有難く恵まれていたものであったかを思い知るところでございます。いまだ予断を許さない状況が続いておりますが、今まで培った智慧を出し合って新たなライフスタイル、新たな価値観を模索しながらこの難局を乗り越えたいと存じます。

又、私達文化活動に携わる者は、この不安かつ心配の多い世の中だからこそ、一層文化の持つ心の豊かさ和やかさに誇りを持ちつつ、(一社)町田市文化協会として何をすべきかを熟考し、文化振興に精励致しました。

皆様のご清安を祈念申し上げますと共に、引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、年頭にあたりご挨拶とさせていただきます。

「新たな年に向かって」

(一財)町田市文化・国際交流財団
事務局長兼文化団体支援室長 宗田 隆由

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により皆様の活動が制限され、大変残念な一年だったと思います。私共財団でも3月以降ほぼすべての事業が中止となりました。ホールや会議室の予約もキャンセルが相次ぎ、4月から約2ヶ月間の休館を経験するなど、大変残念な一年となりました。しかしながら、9月以降は少しづつではありますが、活気が戻り始めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大は収まる事はありませんでした。このような中、高野会長初め文化協会の皆様が決断した秋の「町田市民文化祭」の中止は正しい判断だったと思います。

今後は、町田の文化の灯を消さないためにも、11月に開催した研修会での対応を参考にするとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ「新春文化の祭典 in 鶴川 2021」をはじめとする文化活動の再開をご祈念申し上げます。大切な人を守るために、「感染しない」「感染させない」ための予防対策を徹底し、安全に安心して参加できる文化活動を皆様と共に知恵を出し合いながら協力して進めてまいります。

最後に、皆様の今後のご活躍とご健勝を切にお祈り申し上げるとともに、当財団へのご理解ご協力をお願い申し上げます。



賛助会員

「文化協会の皆様との出会いに感謝」

町田パリオまほろ座 MACHIDA 代表 中村 恵

2020年11月9日町田市文化協会主催「落語文化に親しむ会」に参加させて頂き、やっと町田市における文化人の方々とお仲間になれたような気が致しました。昨年の市民文化祭、今年とチャンスを頂き心より感謝申し上げます。

私は町田パリオのオーナーですが、ビルの上階まで人をよぶことの難しさ、経済の動向、変動をいかに乗り切るか、常に考えておりました。ふと思い出したことは、両親の介護時いつもラジオから聴こえてきた音、それは落語・音楽・カルチャーの紹介でした。「パリオに寄席ができたらどうかなあ」と私。「それはいいな」と父親の一言。私の子守唄は母の童謡、父の浪花節でした。

2010年友人に相談したところ、立川晴の輔師匠(当時二ツ目の志の吉さん)とお見合い。新春立川流広小路寄席は前座さんを入れて9人。笑った笑った。久々の生ライブ。もう絶対に!という一念で3か月後に手作り寄席。志の吉さんを応援するお客様が一人、また一人増えて、皆で真打昇進へのお手伝い。ここで文化協会の皆様とも出会っていたのです。そこで知りあった方とは同志となり、いつのまにかまほろ座立ち上げスタッフに。パリオの文化事業、まちだはまちだプロジェクトも立ち上がりました。何も知らない私にプロの力を持った人が集まってくれました。文化の力、これは不変なのです。

この度、皆様と接し、文化の持つ奥深さ、限りない強いパワーを感じました。町田市文化協会43年の灯を絶やさぬよう、若い力を育て、AI時代にも令和の道をコロナにも負けず進まれることを心より祈念し、ご挨拶とさせて頂きます。





「落語文化に親しむ会」に寄せて 賛助会員 有賀 仙陽

コロナ禍で中止となった研修日帰りバス旅行に替わり、会長はじめ役員の皆様のご努力により、“コロナに負けるな！”「落語文化に親しむ会」が、11月9日ラポール千寿閣で開催された。

昼食、加盟団体有志による演舞の後、立川晴の輔師匠を迎えての落語会、明るくさわやかな語り口で、立川一門の内輪話から落語の歴史などを話され、当日の演目“茶の湯”を熱演された。江戸の庶民の暮らしから生まれた、おおらかさ、滑稽さ、屈託のなさ、おかしみなどが生き生きと語られ、今より自由で活気あふれ感情豊かな生活だったのではないか、とフツと思つたりしました。久しぶりに生の高座を拝聴出来、楽しく有意義な一日でした。

「落語文化に親しむ会」を実施して 町田市文化協会理事 池田 博一

11月9日、ホテルラポール千寿閣において、協会研修事業初の試みとして今まで行ってきたバスによる研修視察に代え市内施設での事業を実施しました。

「コロナに負けるな」のキャッチフレーズで、三密を回避しながら、私たちの活動を実現できるよう役員一同、案を考え消毒・検温・席の配置・演奏・開扉・移動など現地調査を含め、何度も打ち合わせを重ね、発表・告知をいたしました。

当初は、従来の50人集まればと思っていたが、当日は160人を超える参加者があり出演者とともに、このような事業を待ち望んでおられたと実感しました。

冒頭、協会の加盟団体による演舞やジャズコンサートなどで賑わし、トリは人気若手落語家立川晴の輔さんによる「落語文化に親しむ会」としました。

協会として初めての試みでしたが、会場は大入り満員で、触れ合いや喜びを分かち合いたい雰囲気に満ちあふれていました。落語の歴史や効用などの楽しい解説の後、文化協会にふさわしいお題の「茶の湯」の落語となり、滑稽で人情にあふれた江戸情緒に浸り皆様お楽しみいただけたようで、和やかな表情で帰られました。コロナ禍のなかでも対策をしっかりと練って実施し、研修事業の趣旨と目的を果たせたと感じました。





詩歌で癒しを ————— 町田市俳句連盟会長 小林 絹子

我が国は世界有数の長寿国と云われ、平均寿命が毎年伸びておりますが、その一方では介護が必要な方々も増えて居り、厳しい現実ではあります。健康寿命には運動、食生活が重要と呼ばれていますが、プラス心身を働かせる俳句に挑戦してみませんか？

変化の激しい現代社会では何が起こるか解りません。この度のコロナ禍などに依り自粛を求められ、ホームステイを止むを得ずしなければならない場合でも、心身を動かす事により気持ちの衰えは吹っ飛んでいきます。

凛とした気力こそが明日への夢を運び込み生きる喜びの素晴らしいパワーが生まれます。俳句は先ず物事をよく「見る」と云うところから始まります。物を見て何を感じるか？素直な純真な子供心になり、観念を捨て「無」の心、真っさらな心でつかめば良いのです。どうぞ心の糧として心身を鍛えて見ませんか…。自然界には私達の心を癒してくれるものが豊富に満ちあふれて居ります。

笑ひ合ふひと日大事に文化の日 絹子 11月9日 落語文化に親しむ会にて

「町田市文化協会に入会させていただいて」————— 町田Jazzを楽しむ会 Vocal Ridia

町田市文化協会の皆様、はじめまして。この度、シャンソン文化協会の斗南良子会長の御奨めもあり、また、皆様のお認めをいただきまして貴協会への入会を許されました、Vocal の Ridia と申します。

高野会長より新参者につき、当会の紹介をするようにとの仰せでございますので、ごく手短に紹介させていただきます。

町田 Jazz を楽しむ会は、町田に在住在勤者で、Jazz を愛する者の集まりです。愛すると申しましたが、ここで、三省堂の「新明解国語辞典」で「愛」を引くと次のようにしるされています。「個人の立場や利害にとらわれず、広く身のまわりのものすべての存在価値を認め、最大限に尊重していきたいと願う、人間に本来備わっているととらえられる心情」というのです。正しく、わたしたちもそのように Jazz を愛しています。

理屈ではなく、まずは、Jazz を enjoy したいと願っているわたしたちを、どうぞ、宜しくお願ひいたします。



文化協会での思い出と益々の発展を祈念して ————— 前監事 映像文化研究会 甲斐 種千代

文化協会では野中、新井、高野各会長及び役員の皆様には大変お世話になりました。私は会計、文協通信の編集などを担当し、役員会・理事会などでは多くの方と交流ができ大変有意義な時を過ごすことができました。

平成 26 年 9 月、文化協会が一般社団法人化した時から下井氏と監事の任を受けましたが、当初は監事の何たるかもわからない状態でした。その後、書籍等で一般社団法人とは、監事とは…監事の仕事、義務と権限、監査報告書の作り方、一般社団法人に関する法律等に目を通し、監事の役割についての理解に努めました。

また、40 周年記念誌作成では編集委員の一人としてロビーやレストランの片隅などで打ち合わせを重ね、記念式典で配布することが出来ました。折茂編集委員長は苦労されたことと思いますが、良き思い出となりました。

昨今加入団体が減少していることは残念ですが、文化協会の活動は年を重ねるごとに発展し、内容も充実して入場者数も増加の一途をたどっております。

充実した文化都市町田にするために文化協会が基幹団体として、ますます発展することを祈念しております。

『三竹和行・古希の記念の陶芸展』を開催できました——町田市文化協会副会長 三竹 和行

コロナウイルスの影響で5月の開催が中止となりましたが、人生で最初で最後の個展を必ず開催するという気持ちは持っていました。11月は芸術の秋であり、開催中は好天に恵まれ150名の皆様にご鑑賞いただきました。

稚拙な作品ばかりですが来場された方が少しでも楽しんでいただけるように展示方法には特に苦心しました。幸いに美術展に出品する大型の作品と、日常にて使用する食器や酒器、花器などを好んで作成していましたので種類はいろいろあり、そして陶芸を始めたころの作品と最近の少しあはマシな作品と一緒に展示してみました。さらには、町田華道協会の小寺春晃先生に花をいけていただき会場を華やかに演出しました。壁には町田市美術協会の赤羽昭勇氏のアクリル画、高砂寿一氏と尾崎義之氏の写真、町田市書道連



盟の齊藤千尋氏の書を展示して会場を豊かにしました。

展示作品数は約90点でしたが、いくつかの作品を知人・友人に貰っていましたので我が家のお品棚が空き、新たに作陶する意欲が湧きました。コロナ禍の中をご来場いただいた皆さん、お花を送っていただいた方々に改めて御礼申し上げます。陶芸をご指導いただいた故須藤紅洲先生、須藤淑子先生、佐野朋子先生に感謝いたします。

三竹副会長夫妻と文化協会顧問五十子白和先生

人生の区切りとして、古希の良き記念となりました。

2020年町田市一般表彰受賞

10月24日町田市表彰式が開催され、長年にわたる文化芸術功労により文化協会から個人1名と1団体が表彰されました。おめでとうございます。また長い間ありがとうございました。

町田市囲碁連盟 春畑 陞

宮川哲夫研究会モロッコ椅子(代表矢野幸子)



個人・団体情報

*令和3年「新年賀詞交歓会」のお知らせ

恒例の新年賀詞交歓会を次の通り開催いたします。
大勢の皆様のご参加をお待ちいたします。
日 時 令和3年1月30日(土)12時より
会 場 レンブラントホテル東京町田
会 費 7000円
お申込みは各団体お取りまとめの上1月15日までにお願いします。

*町田市民文化祭春の催し

第46回「町田市民美術展」

出品(展示)作品 絵画・版画・デザイン・彫刻部門、
手芸・工芸・写真・人形部門、書道部門
展示期間 令和3年2月27日(土)~3月7日(日)
10時~17時 休館日3月1日(月)
展示場所 町田市立国際版画美術館
主 催 (一社)町田市文化協会
共 催 町田市
協 力 (一財)町田市文化・国際交流財団
入場無料 令和3年1月18日まで展示作品を募集します。
お問合せ先 「町田市民美術展」事務局(町田市書道連盟 村上方)
TEL042-735-3567

*令和3年町田さくらまつり 尾根緑道

4月3日(土)~4日(日) 例年より縮小し開催予定

茶道会特別企画

「お茶席の設えを楽しむ会」のご案内

日 時 令和3年2月21日(日) 3月21日(日)
会 場 プラザ町田ビル町田市文化交流センター5階
1席目10時半から1時間ごとに6席 各席16名
お申込み先着順 参加費1000円
コロナ禍により月例茶会はお休みさせて頂いておりますが、9月よりコロナ対策を十分にいたしまして「お茶席の設えを楽しむ会」を開催し、席主のお話とお呈茶、別室にての展示もお楽しみいただいております。
尚、コロナ感染予防のため変更になる場合もございますので、お申し込みの上ご参加ください。

申し込み・お問い合わせ先 044-988-1757

mail:machida.sado@gmail.com



一般社団法人 町田市文化協会

会 長：高野宗佳
住 所：〒194-0211 町田市相原町850-17
T E L：042-779-0253
E m a i l：machida.bunka@gmail.com